



FLEX10K10 ブレッドボードキット
CSP-012KIT
ユーザーズマニュアル

R01

ヒューマンデータ

目次

ご注意	2
製品について	3
製品の内容について	3
組み立て上のご注意	4
ジャンプスイッチの説明	5
JP 1, JP3 クロック設定 (次表を参照ください)	5
JP 4 リセット信号接続用	5
JP 6 FLEX10 の MSEL0、MSEL1	5
JP 5 FLEX10 の n C E 信号	5
JP 2 CONFIG 用 ROM のデータ選択	6
電源の供給方法	6
CSP-01 2KIT 参考資料について	6
付属資料	7

はじめに

この度は、FLEX10K10 ブレッドボードキットをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

CSP-012KIT は、アルテラ社の高性能C P L Dである EPF10K10LC84 を用いた試作評価用ボードです。

どうぞご活用ください。

ご注意

1. 本書の内容は、改良のため将来予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
2. 本書の内容については万全の記して作成しましたが、万一誤りなど、お気づきの点がございましたら、ご連絡をお願いいたします。
3. 本製品の運用の結果につきましては、2 . 項にかかわらず当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

有限会社ヒューマンデータ

〒567-0034 大阪府茨木市中穂積 1 - 2 - 5 1

シャトー春日第3ビル2F

TEL 0726-20-2002

FAX 0726-20-2003

e-mail: support@hdl.co.jp

URL <http://www.hdl.co.jp>

- MAX+Plus2 は、米国アルテラ社の商標です。
-

製品について

本製品は、組み立てキットですが、回路図を見ながら組み立てのできる技術者を対象としています。

製品の内容について

本パッケージには、以下のものが含まれています。万一、不足などがございましたら、弊社宛にご連絡ください。

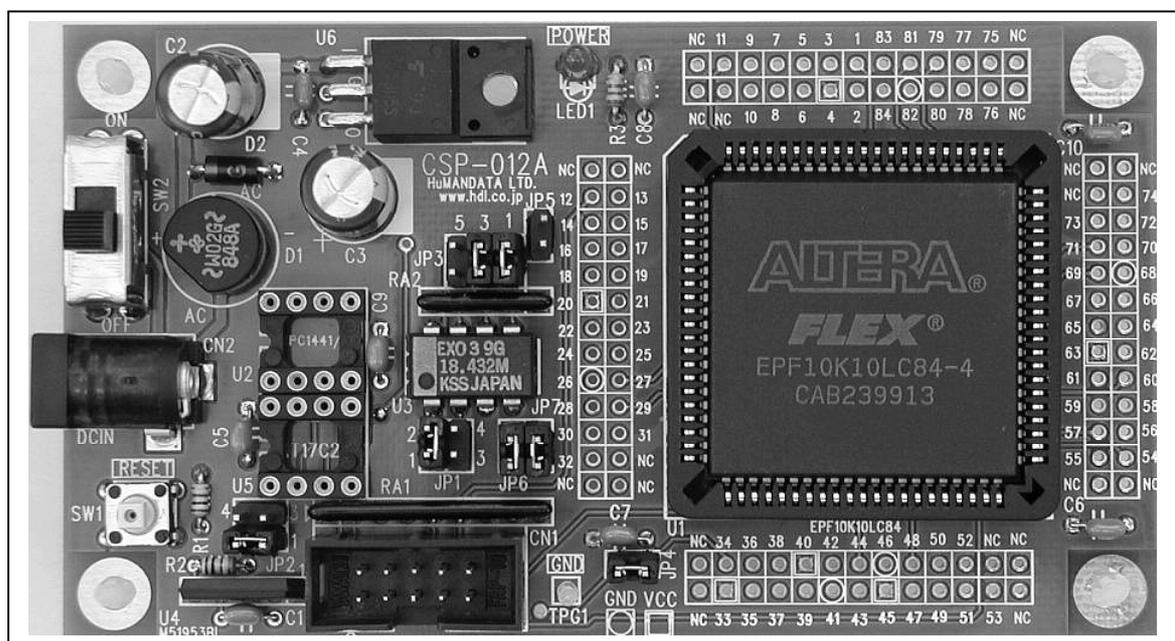
FLEX10K ブレッドボードキット	1
マニュアル（本書）	1
ユーザー登録カード	1

組み立て上のご注意

回路図にしたがって、組み立ててください。

D 1 (ブリッジダイオード W - 0 2) のシルクの切り欠きの向きが実際と異なっています。

シルクの + とダイオードの + をあわせて実装してください。



ジャンプスイッチの説明

JP1, JP3 クロック設定 (次表を参照ください)

EX0-03(クロック発生器 18.432 MHz の場合)

JP1		JP3				周波数
1-2 間	3-4 間	1-2 間	3-4 間	5-6 間		
SHORT	OPEN	-	-	-	18.432 MHz	
OPEN	SHORT	SHORT	SHORT	SHORT	9.216 MHz	
OPEN	SHORT	OPEN	SHORT	SHORT	4.608 MHz	
OPEN	SHORT	SHORT	OPEN	SHORT	2.304 MHz	
OPEN	SHORT	OPEN	OPEN	SHORT	1152 KHz	
OPEN	SHORT	SHORT	SHORT	OPEN	576 KHz	
OPEN	SHORT	OPEN	SHORT	OPEN	288 KHz	
OPEN	SHORT	SHORT	OPEN	OPEN	144 KHz	
OPEN	SHORT	OPEN	OPEN	OPEN	72 KHz	

注 1) 1-2 間または 3-4 間については、いずれか一方を接続してください。

JP4 リセット信号接続用

ショートするとリセット信号が供給されます。

JP6 FLEX10 の MSEL0、MSEL1

通常ショートしてください。

JP5 FLEX10 の nCE 信号

J P 2 CONFIG 用 ROM のデータ選択

いずれか一方をご使用ください。

AT17C256 を用いる場合は、U2 にダミーの EPC1 か EPC1441 をさしておく必要があります。

電源の供給方法

CSP-012KIT の電源入力には標準的な A C アダプタ (2.1mm) が適合するようになっています。A C アダプタは外側が + のものと外側が - のものがありますが、CSP-012KIT ではいずれも使用可能です。

また電圧は直流 8V から 12V 程度のものが使用可能です。
一般的に 9V タイプの A C アダプタを想定して設計されています。

CSP-012KIT 参考資料について

追加資料や参考資料がつくられた場合は<ftp://hdl.co.jp/pub/csp-012kit>にデータをアップロードすることにいたします。

拡張子 “.exe” のときは、自己解凍ファイルといたします。

ときどきチェックしていただき必要に応じてご利用くださいませ。

パスワードを求められたときは”thanks”を入力していただければ開けます。

付属資料

- 1 . 部品表
- 2 . 回路図